

## ○ベンザリン錠・▼細粒 [内]

【重要度】【TDM】 【一般製剤名】ニトラゼパム (U) nitrazepam 【分類】睡眠誘導剤 [BZ系・中間型]・抗痙攣剤  
【単位】▼2mg・○5mg・▼10mg/錠, ▼1%細粒  
【常用量】■不眠症：5～10mg/回■麻酔前投薬：5～10mg/回を寝る前または手術前■抗てんかん剤：5～15mg/日  
【用法】■就寝前■手術前■抗てんかん剤としては分割投与  
【透析患者への投与方法】尿中未変化体排泄率が低く代謝物に活性がないため減量の必要なし (3,5,11)  
【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (3,10)  
【特徴】ベンゾジアゼピン系の中間型睡眠誘導剤。異型小発作群、焦点性発作などのてんかん発作にも効果が認められている。  
【主な副作用・毒性】呼吸抑制、炭酸ガスナルコーシス、依存性、刺激興奮、錯乱、発疹、搔痒感、消化器症状、頭痛、不安、見当識障害、興奮、不機嫌、不快感、多幸症、黄疸、軽度の血圧低下、口渇、傾眠、大発作の回数増加、嚥下障害、気道分泌過多など  
【吸収】小腸上部より良好に吸収 (1) 食物と共に服用すると最高血中濃度は約 30%低下し、最高血中到達時間は約 30%遅延する (1)  
【F】78±16% (1) 80% (14)  
【tmax】81±62min (1,11)  
【代謝】肝、代謝物の活性なし (11) 肝でニトロ基が還元 [7-Aminonitrazepam] され、不活性体になる (U) 大部分は肝、一部は腸管壁で代謝 (1) 主な代謝経路はニトロ基の還元とそれに続くアセチル化であり、加水分解によりベンゾジアゼピン環が開環した代謝物も認められる (1)  
【排泄】尿中未変化体排泄率 1.1% (1) 4%以下 (11) 1% (14) 糞中 20% (11) 主に代謝物の 7-Aminonitrazepam, 7-Acetamidonitrazepam として尿中に 13～20% 排泄 [po, 24hr まで] (1) 【CL】0.86±0.12mL/min/kg (1)  
【t1/2】26±3hr (1) 30.7hr (20～48hr) (11) 31hr (14)  
【蛋白結合率】87% (1,11)  
【Vd】1.9±0.3L/kg (1) 1.8～4.7L/kg (11) 2.1L/kg (14)  
【MW】281.3  
【透析性】ほとんど除去できない (1)  
【TDM のポイント】200ng/mL 以上で過剰鎮静が現れることがある。抗てんかん薬として 20～200ng/mL (1) 有効治療域 30～60ng/mL (14) 200ng/mL 以下 (SRL 検査案内) 【O/W 係数】125 (11) 162 [1-オクタノール/buffer, pH7.4] (1) 【pKa】2.8, 10.9 (1)  
【効果発現時間】約 15～30min (1)  
【効果持続時間】約 6～8min (1)  
【更新日】20141104

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。